

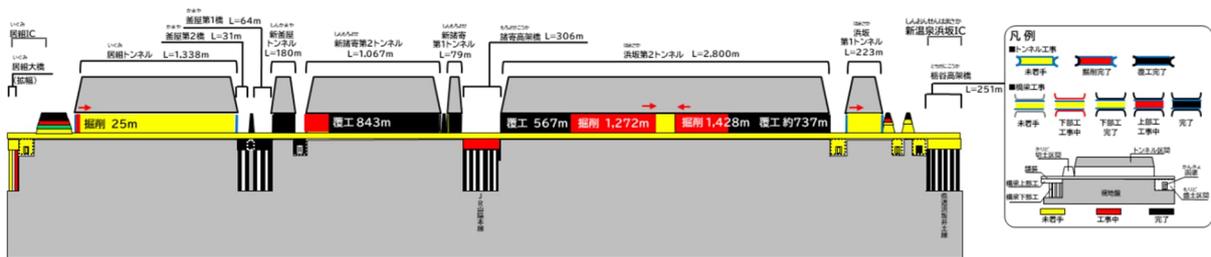
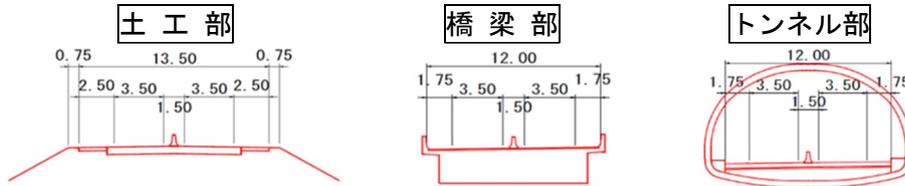
部課室名	土木部道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課長 竹本 修 (国道・交通施設班長 田中 孝行)	内線	75135 (75137)
事業種目	道路事業	新規評価年度	平成29(2017)年度	現計画	前回評価時点
事業名	国道178号 〔浜坂道路Ⅱ期〕	事業採択年度	平成30(2018)年度	総事業費	750億円
		着工年度	令和元(2019)年度	内用地補償費	9億円
		再評価年度	令和2(2020)年度 令和5(2023)年度	完成予定年度	令和11 (2029)年度
事業区間	美方郡新温泉町栃谷～居組	進捗率 (用補進捗率)		55%(99%)	38%(99%)
		残事業費		337億円	386億円
事業の目的				事業内容 () 前回評価時点	
<p>本路線は、基幹道路八連携軸の日本海沿岸軸として、環日本海地域の交流を強化し、広域高速道路ネットワークを形成する山陰近畿自動車道（鳥取豊岡宮津自動車道）の一部区間である。</p> <p>○高速道路ネットワークの形成 日本海側の高速道路網の未整備区間を解消し、北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道とともに国土のリダンダンシーを確立する。</p> <p>○広域観光交流圏の拡充・強化 山陰海岸ジオパークをはじめとする広域観光交流圏の拡充・強化、交流人口の拡大を図る。</p> <p>○地域の安全・安心の向上 鳥取県立中央病院（3次救急医療病院）へのアクセス強化により、地域の医療環境の向上を図る。</p>				<p>【延長】 7.6km</p> <p>【構造規格】 第1種第3級</p> <p>【幅員】 車道7.0m[全幅13.5m][代表断面]</p> <p>【計画交通量】 7,800台/日[R22予測] (6,800台/日[R22予測])</p> <p>【現況交通量】 自動車：7,125台/日[R3センサス] (自動車：7,125台/日[R3センサス])</p> <p>【負担割合】 国：55% 県：45%</p>	
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>令和5年3月12日、岩美道路（鳥取県・東浜IC～浦富IC）が供用開始し、居組IC（兵庫県）から福部IC（鳥取県）が自動車専用道路として繋がるなど、周辺幹線道路の整備が着々と進んでいる。</p> <p>【前回評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①工事实施時に事前調査では確認できなかった地質が確認されたため、トンネル支保パターンの変更及び補助工法の追加により約80億円増額する。</p> <p>②建設資材価格や労務単価の上昇を受け、必要経費を計上するため、約51億円増額する。</p> <p>③建設発生土の流用を行い、残土運搬及び処分費を削減したため、約1億円減額する。</p> <p>④上記①に伴い、完成年度を令和11年度に変更する。</p>				
進捗状況	<p>【用地】令和元年度より用地取得に着手し、令和7年10月末現在で用地取得率は99%（面積ベース）である。残る用地についても、早期契約を目指す。</p> <p>【工事】令和元年度に居組IC道路改良工事から着手し、現在は、居組トンネル（仮称）やJR山陰本線を跨ぐ諸寄高架橋（仮称）に着手するなど、事業区間全線でトンネルや橋梁・IC改良等の大規模工事を実施している。引き続き、早期完成を目指し工事を進める。</p>				
評価視点	評価結果の説明				
審査会意見及び対応方針（R5年度再評価）	【審査会意見】 「事業継続は妥当」である。		【対応方針】 早期供用に向け、事業推進に取り組む。		
(1)必要性	<p>①日本海側の高速道路網の未整備区間を解消し、北近畿豊岡自動車道と鳥取自動車道のダブルネットワークの形成により、大規模災害発生時の緊急支援物資の輸送ルート確保や災害復旧の迅速化など、災害に強い日本海国土軸を形成する。</p> <p>②山陰海岸ジオパークをはじめとする多様な観光拠点・観光資源へのアクセスを向上させることにより、広域観光交流圏を拡充・強化し、交流人口の拡大を図る。</p> <p>③本道路の整備により、鳥取県立中央病院（3次救急医療病院）へのアクセス性の向上を図り、地域の医療環境の向上を図る。</p>				
(2)有効性・効率性 (執行環境状況)	<p>①本事業の完了により、佐津IC～鳥取間（約45km）の高速道路が連続的に繋がる。</p> <p>②完成後の現道の管理引継について、新温泉町と協議が整っている。</p> <p>③新温泉町が運営する残土処分場で、発生する残土を受け入れることが可能である。</p> <p>④費用便益比B/C=1.6[*]（前回評価時B/C=1.2[*]）</p> <p>※山陰近畿自動車道（宮津天橋立IC～鳥取西JCT）路線全体で分析を実施</p>				
(3)環境適合性	<p>①事業区間に生育する貴重種を生育適地へ移植するなど、環境保全を図っている。</p> <p>②市街地の通過交通が本道路に転換されることにより、大型車等の排気ガスや交通騒音などに対する沿道環境が改善される。</p>				
(4)優先性	<p>①安全で円滑な交通を確保するため、早期に事業を完了させる必要がある。</p> <p>②高速道路ネットワーク及び兵庫県北西部と鳥取県東部を結ぶ県内最後の未整備区間のため、早期に事業を完了させる必要がある。</p>				
再評価の結果	継続	左の理由	事業の必要性・有効性等は事業採択時と変わっておらず、当該区間の早期供用を望む地元の声が強いため、継続して事業を実施する必要がある。		

事業進捗状況概要図（継続：再評価〔第3回〕）

事業名	道路事業	路線・河川名	国道178号〔浜坂道路Ⅱ期〕
-----	------	--------	----------------

【令和7年10月末時点】

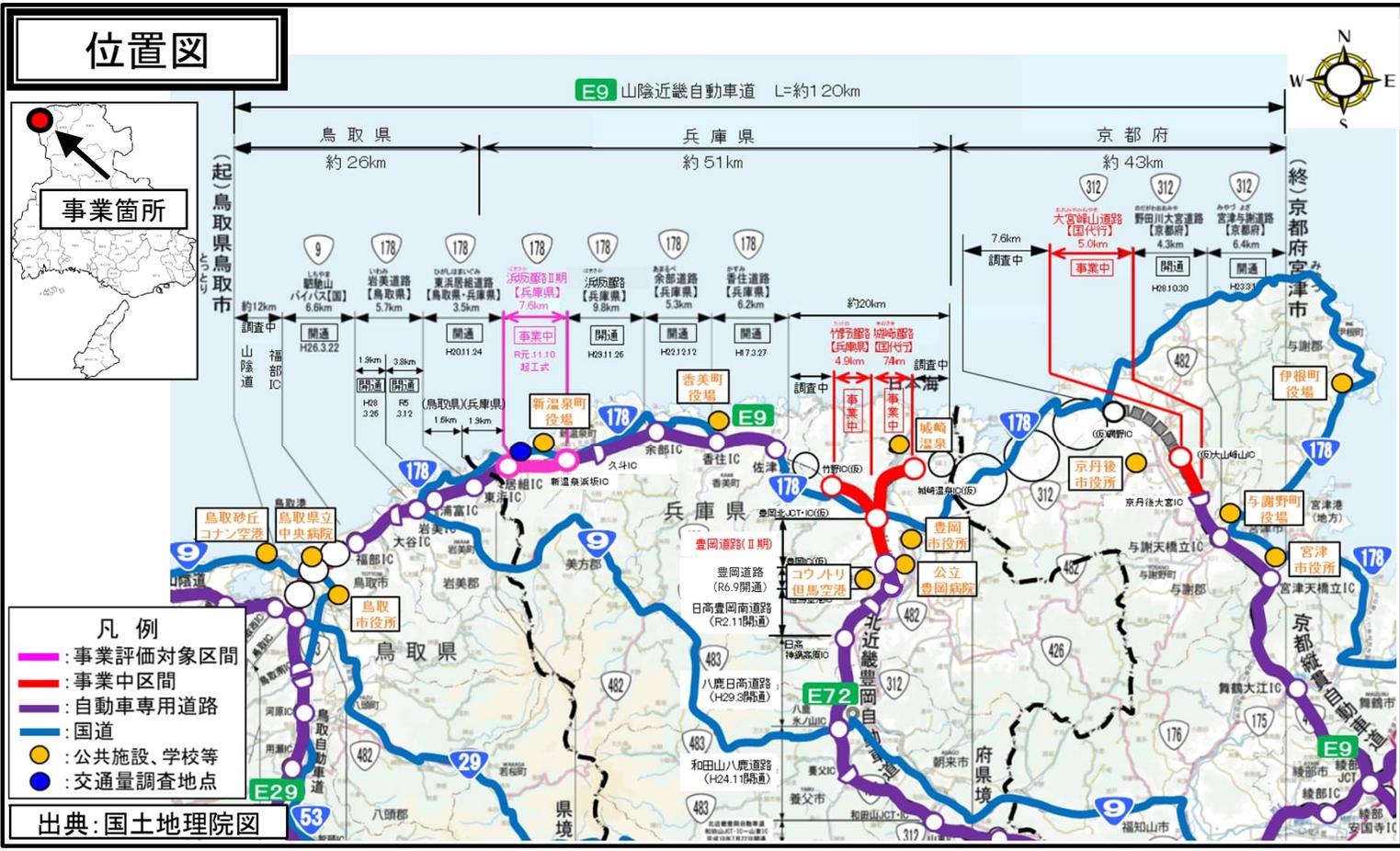
【標準横断面図】



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 H30(2018) ~ R11(2029)	【事業費＝約 750 億円】 延長 7,600m 新温泉浜坂 IC～居組 IC(トンネル6本、橋梁5橋) 用地：約 11.8 万㎡、物件 44 件	
前回再評価まで(実績) H30(2018) ~ R5(2023)	【事業費＝約 234 億円】 事業進捗率: 31%、用地補償進捗率99% ・用地取得面積: 11.8万㎡、物件43件 ・事業区間全線でトンネルや橋梁上下部工等の大規模構造物工事を推進	
過去2年間 R6(2024) ~ R7(2025)	【事業費＝約 179 億円】 事業進捗率: 55%、用地補償進捗率99% ・事業区間全線でトンネルや橋梁上部工等の大規模構造物工事を推進	
今後4年間(予定) R8(2024) ~ R11(2029)	【事業費＝約 337 億円】 ・用地取得面積: 約203㎡、物件1件 ・事業区間全線でトンネルや橋梁上部工等の大規模構造物工事を推進 ・令和11年度 全線供用予定	①高速道路ネットワークの形成 ②広域観光交流圏の拡充・強化 ③地域の安全・安心の向上

道路事業 国道178号〔浜坂道路Ⅱ期〕

位置図



目的

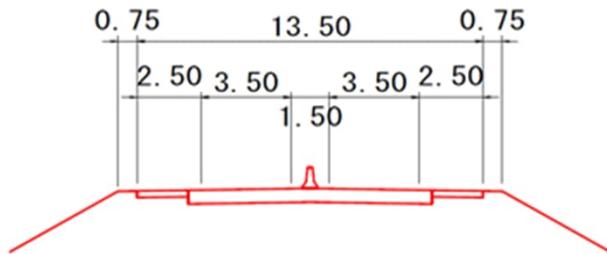
- ①高速道路ネットワークの形成
- ②広域観光交流圏の拡充・強化
- ③地域の安全・安心の向上

事業概要

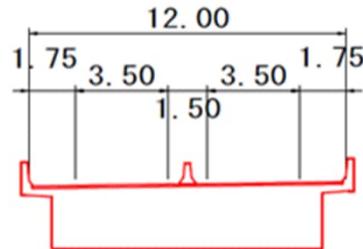
事業区間：美方郡新温泉町栃谷～居組
 総事業費：750億円
 内用地補償費：約9億円
 事業期間：H30～R11
 事業概要：自動車専用道路
 延長：7.6km
 費用便益比B/C:1.6(全体)※
 ※山陰近畿自動車道(宮津天橋立IC～鳥取西JCT)路線全体で分析を実施

横断図

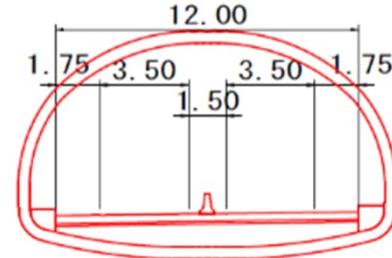
<土工部>



<橋梁部>



<トンネル部>



事業の必要性・優先性

①日本海側の高速道路網の未整備区間を解消し、大規模災害発生時の緊急支援物資の輸送ルート確保や災害復旧の迅速化など、災害に強い日本海国土軸を形成する。

災害に強い日本海国土軸の形成

地すべりによる町道（旧国道178号）の通行止



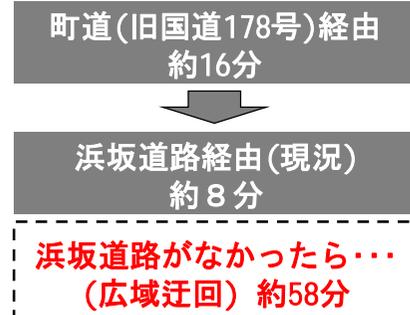
国道178号で落石が発生し車両と接触



各所で地すべりや落石による通行止が発生
山陰近畿道の整備で長期に渡る**広域迂回を回避！**



出典：国土地理院図

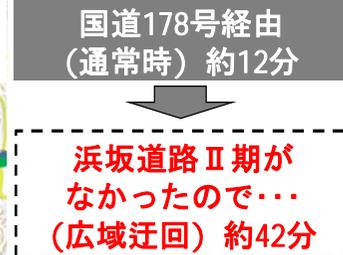


[凡例]

- 地すべり箇所
- 浜坂道路
- 町道久谷桃観線
- 迂回路



出典：国土地理院図



[凡例]

- 落石発生箇所(R3.11月)
- 落石注意区間
- 浜坂道路
- 町道久谷桃観線
- 迂回路

現況写真

①国道178号積雪による通行不良



②国道178号線形不良区間



新温泉町への通勤者の声

迂回路が国道9号しかないのは不便。災害時のことを考えると不安になる。整備中の山陰近畿自動車道の完成を急いで欲しい。

事業の必要性・優先性

②山陰海岸ジオパークをはじめとする多様な観光拠点・観光資源へのアクセス向上により、広域観光交流圏を拡充・強化し、交流人口の拡大を図る。

地域間交流の促進

- ▶ 令和5年3月、鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、香美町、新温泉町の1市6町により「第2期 因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」を形成。
- ▶ 山陰近畿自動車道の整備が「麒麟のまち圏域」の連携を強化し、県境を越えた地方法制の取り組みを推進。



平成30年4月1日
因幡・但馬麒麟のまち
連携中枢都市圏連携協約

道の駅

因幡・但馬麒麟の
まち連携中枢都市圏
(麒麟のまち圏域)



- ▶ 県境を越えた図書館の相互利用で、地域の情報拠点として市民サービス向上に貢献



新温泉町立加藤文太郎記念図書館
の貸出冊数(万冊)



※ 3町協定: 平成27年度に新温泉町、香美町、鳥取県岩美町の3町で、図書館の相互利用協定を締結



穴見海岸からの夕日(ジオパーク)



居組漁港が県内唯一の海業新興地区に！

令和5年3月8日、居組漁港が水産庁の「海業振興モデル地区」(全国12カ所)に兵庫県内で唯一選定された。

地域資源を生かして漁村の活性化を推進！



居組漁港



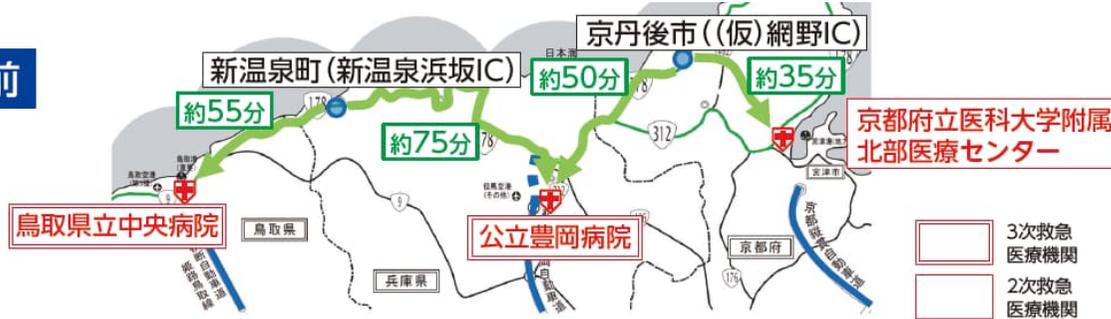
事業の必要性・優先性

③鳥取県立中央病院(3次救急医療病院)へのアクセス強化により、地域の医療環境の向上を図る。

命の道としての役割

【山陰近畿自動車道整備前後の所要時間比較】

整備前

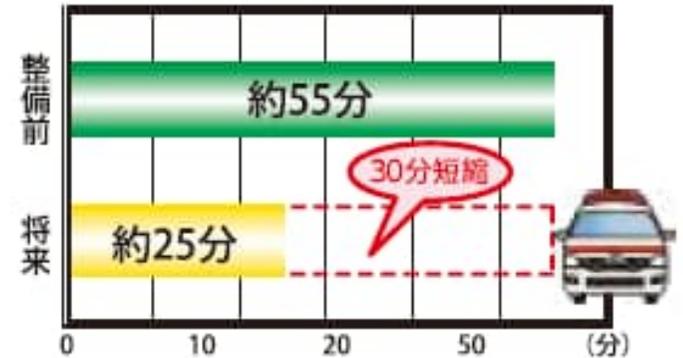


全線開通時



- H30.7豪雨では「山陰近畿自動車道」が効果を発揮！ -
- ・但馬地域では複数の県道で規制雨量に達するなどして通行止めが発生
 - ・浜坂道路をはじめとする山陰近畿自動車道は、通行止めを回避でき、緊急車両の通行路を確保
 - ➡「いのちの道」としての役割を果たす。

新温泉町(新温泉浜坂IC)
～鳥取県立中央病院までのアクセス時間

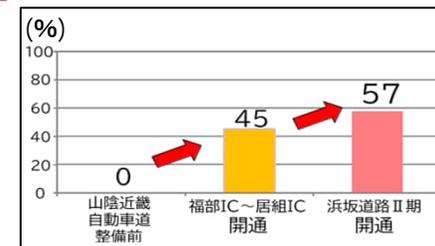


救急隊員の声

患者さんを迅速に搬送でき、救える命が増える。搬送する患者さんや運転手の負担軽減も図られている。



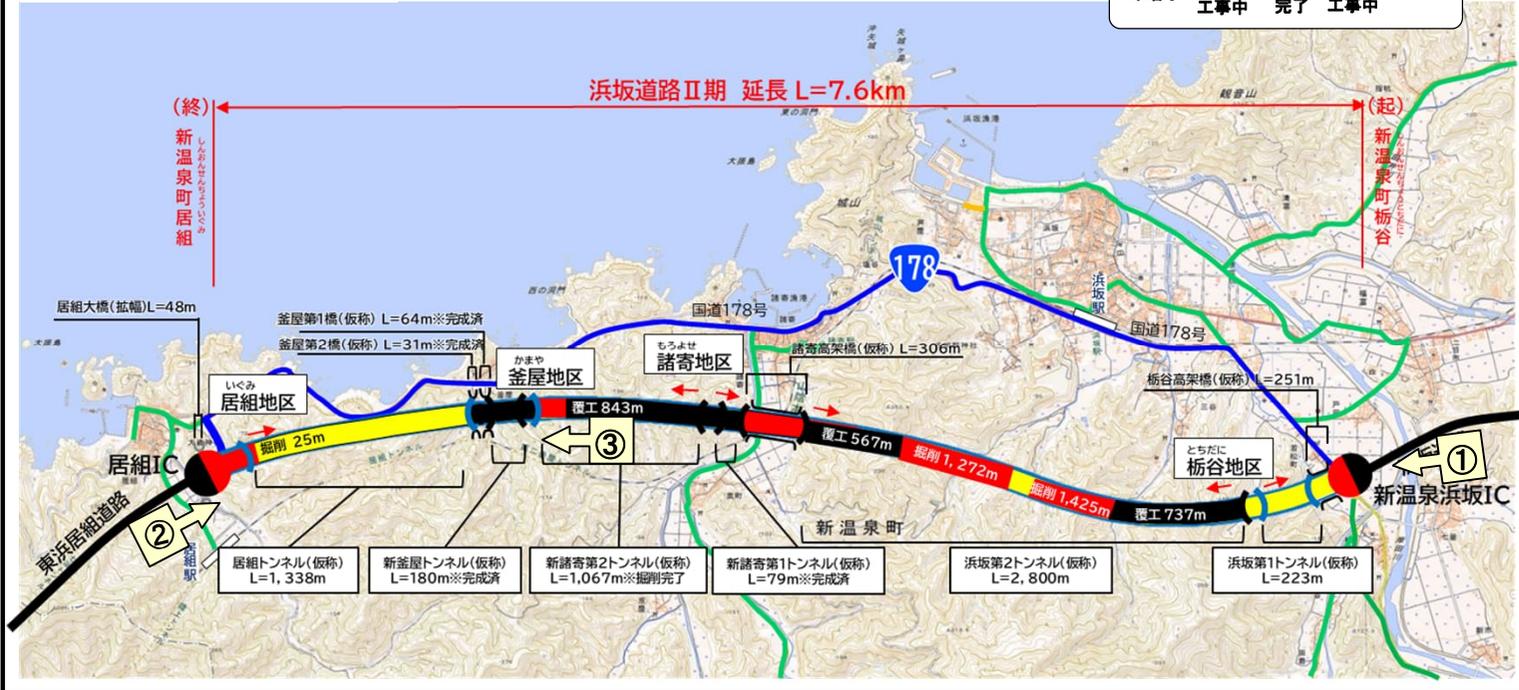
【鳥取県立中央病院30分圏域の人口カバー率】



進捗状況

事業進捗平面図

令和7年10月末時点



工程表

■ : 前回計画
 ■ : 実施・計画

工種	H30	H31 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
調査・設計	■	■	■									
用地補償		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
道路改良工事 (設備含む)		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
橋梁工事 (設備含む)			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
トンネル工事 (設備含む)				■	■	■	■	■	■	■	■	■

現況写真

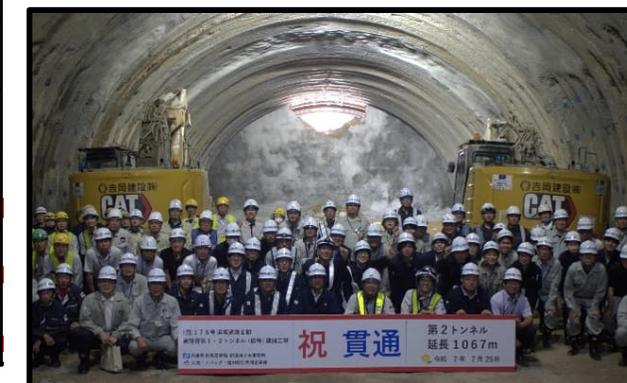
①工事進捗状況(栃谷地区)



②工事進捗状況(居組地区)



③工事進捗状況(新諸寄第2トンネル貫通)



事業の有効性・効率性

(1) 費用対効果

① 便益(B)の項目

評価の視点	効果項目(費用対効果の便益内容)
① 走行時間短縮便益 ○ 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用－整備有りの走行時間費用 走行時間費用: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{走行時間}) \times \text{時間価値原単位} \times 365\text{日}$
② 走行経費減少便益 ○ 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費－整備有りの走行経費 走行経費: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離}) \times \text{走行距離原単位} \times 365\text{日}$
③ 交通事故減少便益 ○ 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額－整備有りの事故損失額 事故損失額: $\Sigma(\text{交通量} \times \text{距離} \times \text{交差点以外の事故損失原単位} + \text{交通量} \times \text{主要交差点数} \times \text{交差点部事故損失原単位})$

② 費用便益費(B/C)算出根拠

事業	事業名	B(便益)		代表的な効果	C(費用)				B/C	
		便益額(億円)			総費用(億円)	事業費(億円)	維持管理費(億円)	更新費(億円)		
道路事業	国道178号 〔浜坂道路Ⅱ期〕 ※宮津天橋立IC ～鳥取西JCTを 対象	全体事業費	走行時間短縮便益	9,479	計画交通量 7,800台/日	6,846	6,551	221	73	1.6
			走行経費短縮便益	1,122						
			交通事故減少便益	210						
			計	10,811						
	残事業費	走行時間短縮便益	938	計画交通量 7,800台/日	1,754	1,688	66	-	0.6	
		走行経費短縮便益	91							
		交通事故減少便益	13							
		計	1,042							

(2) 費用対効果に含まれない効果

評価の視点		効果項目	該当する事業内容等
①安全・安心の確保	災害時	緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	○ 北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道とともに国土のリダンダンシーを確保
		救助・救援活動の支援 (災害時の通行不能や孤立集落の解消)	○ 北近畿豊岡自動車道、鳥取自動車道とともに国土のリダンダンシーを確保
		減災対策への取組み (二線堤道路、避難路・避難場所としての機能、延焼防止機能の確保)	—
	平時	救急医療体制の支援	○ 第三次救急医療施設へのアクセス性の向上
		交通安全対策	○ 通過交通の転換による歩行者・自転車の安全の確保
			○ 高速道路ネットワークの形成による交流人口の拡大
②地域の活性化	地域間交流の促進	—	
	中心市街地の活性化	—	
	地域産業の活性化	○ 高速道路ネットワークの形成による広域観光交流圏の拡充・強化	
	観光支援	○ 高速道路ネットワークの形成による広域観光交流圏の拡充・強化	
	地域プロジェクト等支援	—	
③円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	—	
④地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	○ 通過交通が転換されることによる騒音・排気ガスなどの沿道影響の改善	

(3) 地域からの要望状況等

要望状況等	<p>①新温泉町による残土処分場の新設、地域住民による事業用地取得の協力など地域の協力体制が整っている。</p> <p>②事業説明会の開催などを通じて、地元と十分に連携を図り事業を進めている。</p>
-------	--